

第28回(2016年度) 支援グループ

支援金部門 16グループ

(申請数:260件) 支援金額:合計 626万円

グループ名	主な活動内容	支援金の活用内容	所在地
身近に福祉用具を広める会 ぶらっとほーむ	高齢者や障害者への自助具・福祉用具の貸し出し フリースペースの運営	体位変換器やリクライニング車いすなど 子ども食堂の試験的開設と運営	北海道弟子屈町 山形県山形市
NPO法人福聚会 デイサービスセンター和久井亭 グループSECたまちゃん	高齢者と子どもがふれあえる駄菓子屋の運営 DV防止や被害者の相談・援助活動	移動販売専用の軽トラック ミシン各種	栃木県鹿沼市 埼玉県さいたま市
NPO法人コンパスの会 NPO法人大地の郷	障害者が農業やパンの製造・販売などを行う 障害者が農業に取り組んでいる。	パン成形機 木片などの粉砕機	埼玉県三郷市 埼玉県吉見町
多言語絵本の会RAINBOW NPO法人さぼてんの花	多言語のデジタル録音絵本の制作・提供 重症心身障害児のためのデイサービスの運営	マルチメディア絵本の制作ソフトと録音機器 トイレ用手すりの整備	東京都目黒区 愛知県一宮市
NPO法人NAGONAGO式COCOアイランド NPO法人ふれ愛名古屋	通所介護事業所と放課後等デイサービスの運営 重症心身障害児のためのデイサービスの運営	空気清浄機とプロジェクター セラピーマット、障害児対応チャイルドシート	愛知県名古屋市 愛知県名古屋市
安立二北寿会 NPO法人絆 エコファーム絆	高齢者同士の交流や学習会などを行っている 障害者が農作業やバイキングレストランを運営	プロジェクター、BDプレイヤー ベーカリーコンベクションオープン	大阪府大阪市 和歌山県田辺市
NPO法人若者就労支援センターつながるねっと 中途失聴・難聴者サークル"うさぎ"	生活困窮やひきこもりなどの若者の就労支援 聴覚障害者が童話を手話劇にして公演している	訪問相談や送迎用の車両 ヒアリンググループとビデオカメラ	高知県四万十市 福岡県福岡市
NPO法人SPICY NPO法人長寿ささえ愛の会	自閉症スペクトラム当事者やその家族の支援活動 認知症当事者やその家族の支援	暖房機器と加湿器 サロン用のテーブル、冷蔵庫、エアコン	長崎県長崎市 鹿児島県日置市

リサイクルパソコン部門 20グループ

(申請数:108件) 支援台数:合計 52台

グループ名	主な活動内容とパソコンの用途	所在地
NPO法人ハートランドひまわり 須賀川手話サークルあゆみ会	精神障害者が、生活に困難を抱える人の買い物代行や就労に役立つパソコンスキルを習得 要約筆記やノートテイクなどによる聴覚障害者への情報保障	秋田県大館市 福島県須賀川市
要約筆記こおりやま 栃木市パソコン要約筆記サークル「さくらんぼ」	要約筆記やノートテイクなどによる聴覚障害者への情報保障 要約筆記やノートテイクなどによる聴覚障害者への情報保障	福島県郡山市 栃木県栃木市
無料塾「ひこざ」 流山音訳グループ	生活困窮家庭の子どもたちのための学習支援 デジタル音声CDなどによる視覚障害者への情報保障	埼玉県さいたま市 千葉県流山市
NPO法人ひびき NPO法人ひざしひろば	障害者施設が発行する機関誌の編集と制作 精神障害者のための就労に役立つパソコンスキルの習得	千葉県茂原市 東京都八王子市
筆記通訳 風 声のボランティアグループ 桃花会	要約筆記やノートテイクなどによる聴覚障害者への情報保障 デジタル音声CDなどによる視覚障害者への情報保障	神奈川県海老名市 新潟県新潟市
NPO法人ららの家 NPO法人リナスト	障害のある子どもたちのための学習支援 障害者のためのパソコンスキルの習得	静岡県島田市 愛知県知多市
NPO法人岐阜ダルク NPO法人ゆめさぼーとらいちょう らいちょう熊野	薬物などの依存症経験者の回復や社会復帰のためのパソコンスキル習得 精神障害者のための就労に役立つパソコンスキル習得	岐阜県岐阜市 富山県富山市
奈良県要約筆記サークルOHPわかさ NPO法人ワークス・アールブリュット推進協議会	要約筆記やノートテイク、邦画への字幕付けなどによる聴覚障害者への情報保障 障害児者が取り組むデジタルアート	奈良県大和高田市 和歌山県御坊市
グループ虹 ICTサポート福岡	デジタル音声CDなどによる視覚障害者への情報保障 文字を読むことに困難がある子どもたちのためのマルチメディアデジタイズ絵本の制作	広島県広島市 福岡県福岡市
田川点訳サークル「コスモス」 NPO法人ハッピーデイズ	点字・点訳による視覚障害者への情報保障 障害者のための就労に役立つパソコンスキル習得や広報紙制作	福岡県田川市 宮崎県新富町

東日本大震災復興支援部門 9グループ

(申請数:30件) 支援金額:合計 492万円

グループ名	主な活動内容	支援金の用途	所在地
おおつち おばちゃんくらぶ NPO法人あいの実	被災者が取り組む手作り小物の制作と販売 重症心身障害児のためのデイサービスを運営	さおり織機とプリンター 入浴対応ストレッチャー	岩手県大槌町 宮城県仙台市
NPO法人海への森をつくらう会 NPO法人そのつ森	植樹や育苗などによる地域再生と心のケア 高齢者デイサービスと宿泊施設の運営	パイプハウス 施設改修とベッド各種や洗濯機、冷蔵庫	宮城県気仙沼市 宮城県丸森町
NPO法人ボラリス 南地区絆クラブ	障害者の創作作品の販売や展示 福祉施設への慰問など	アトリエの整備 ミニボーリングなどのニュースポーツ用品	宮城県山元町 宮城県気仙沼市
NPO法人あぶくまエヌエスネット 音楽で子どもたちを元気にする会「にじいろ」	子どもを対象にした自然体験の提供 障害のある子どもを対象にした音楽療法	発達障害のある子どもの宿泊自然体験 木琴やリズム楽器	福島県鮫川村 福島県伊達市
NPO法人びいかあぶう	障害のある子どもたちのための放課後等デイサービス	人工芝マット、ベンチ、サッカーゴールなど	福島県郡山市

第29回 NHK厚生文化事業団

地域福祉を支援する わかば基金

平成29年度
(2017年) 募集要項



3つの方法で、
ボランティアグループや
NPOの活動を応援します

支援金部門



リサイクル パソコン部門



東日本大震災 復興支援部門



「わかば基金」は、地域に根ざした福祉活動を展開しているグループが、

活動の幅を広げるための支援をしています。

これまでに、667グループに「支援金」や「リサイクルパソコン」を贈呈してきました。

また、東日本大震災の被災地の再生に尽力しているグループを応援する部門もあります。

福祉にとって厳しい時代だからこそ、

「わかば基金」は地域に芽吹いた活動をもっと応援していきます。

多くのグループからの申し込みをお待ちしています。

主催

社会福祉法人 **NHK** 厚生文化事業団

後援

NHK

協力

NHK関連団体、NPO法人 **イー・エルダー**

募集部門

支援金部門 1グループにつき、最高100万円

(10グループほどを予定)

対象 国内のある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金でより活動を広げたいというグループ。

対象となる活動例

地域の高齢者や障害者、生活困窮者などの日常生活を支援したり、さまざまなサービスを提供している。
(在宅か施設かは問いません)

障害者の社会参加や就労の場づくりの促進、またその活動の支援にあっている。

文化活動を通じて、障害や年齢の枠をこえた交流や相互理解をはかっている。

地震や台風・大雨などの災害で被害を受け、復旧・復興するために新たな活動を展開したい。

対象外

- 行政や他財団等の助成を「わかば基金」の申請と同じ内容で申請、もしくは受けている。
- 法人格をもっている(NPO法人は申請可)。
- 人件費、謝礼、家賃、交通費などのランニングコストやグループ運営のための事務経費。
- 設立資金。

※パソコンを希望するグループはリサイクルパソコン部門に申請してください。

リサイクルパソコン部門 ノートパソコン 総数50台程度

(贈呈台数:1グループにつき、3台まで)

対象 パソコンを利用して地域で活発な福祉活動に取り組んでおり、台数を増やすことで、より高齢者や障害者に役立ち、活動の充実を図れるグループ。

※なお、このリサイクルパソコンは、NHKとNHK関連団体の協力を得て提供します。

対象となる活動例

地域の高齢者や障害者、生活困窮者などへパソコン指導のサービスを提供している。
(在宅か施設かは問いません)

障害者の社会参加や就労の場づくりの促進、またその活動の支援にあっている。

要約筆記や字幕、音声ガイドなどでの情報保障。

福祉情報の提供やネットワークづくりを通して、地域の福祉活動の向上につとめている。

対象外

- 法人格をもっている(NPO法人は申請可)。
- 職員やスタッフなどが行う運営業務や事務処理での利用。

注意点(必ずご確認ください)

- パソコンはリサイクル(クリーニング・メンテナンス済)したものです。機種は、選べません。
- 搭載ソフトは、OSはWindows 10 Home Premium、アプリケーションはOffice 2016 Personal(ワード、エクセル)を新たに正規のプログラムをインストール。
- 無線LANの内蔵・外付けは選べません。
- 設置はグループで行ってください。

■リサイクルパソコンについては、下記の贈呈条件をご理解ください。

①初期故障対応を除いて、贈呈するパソコンについての保証は一切ありません。②該当パソコンを他の団体、個人、海外の団体や企業などへの譲渡または販売などは禁じます。③寄贈後に当該パソコンから生じる一切の責任は寄贈を受けた団体にあり、使用の結果生じるいかなる損害賠償も請求できません。④原則として、当該パソコンの返品や交換には応じられません。⑤当該パソコンが不要になった場合は、寄贈を受けた団体の責任ですべてのデータを消去し、適切な産業廃棄物処理をしてください。⑥すでにインストールされているソフトウェアの使用にあたっては、マイクロソフト社の定める事項を遵守してください。

東日本大震災復興支援部門 1グループにつき、最高100万円

(5グループほどを予定)

対象 ○東日本大震災の被災地に活動拠点が、その地域で福祉活動をすすめているグループ。
○支援金で被災地に必要な新たな事業を展開したい、と考えているグループ。

対象となる活動例

被災地域で暮らす高齢者や障害者、生活困窮者などの日常生活を支援したり、さまざまなサービスを提供している。
(在宅か施設かは問いません)

新たな事業を展開するために必要な物品をそろえたい。

福祉情報の提供やネットワークづくりを通して、地域の生活再建・福祉向上につとめている。

対象外

- 法人格をもっている(ただし、NPO法人は申請可)。
- 設立資金。
- 人件費、謝礼、家賃、交通費などのランニングコストやグループ運営のための事務経費。

申し込み方法

申請書の「記入上の注意」をよく読み、必要事項を漏れなくご記入のうえ、NHK厚生文化事業団へお申し込みください。(申請書はホームページからダウンロードできます▼)

*支援金部門、リサイクルパソコン部門、東日本大震災復興支援部門のいずれかを選んでご記入ください。(複数部門への応募は受け付けません)

*日本国内に活動拠点がグループを対象とします。

*郵送のみ受け付け。(FAX・メール受付不可)

*申請書は必ず、第29回のものでご使用ください。(以前の用紙では受け付けません)

*グループの資料などの添付の有無は、支援決定に影響はありません。

ただし、①平成27年度の収支報告書(活動計算書など)※A4用紙1枚にまとめたもの/全部門共通

②用途の見積書(対象:支援金部門、東日本大震災復興支援部門)を必ず添付してください。

*お送りいただいた応募書類や関係資料はお返ししません。予めご了承ください。

*申請書に記載されたご連絡先などの情報は、適正に管理し、わかば基金に関係する連絡のために利用させていただきます。

*記入された申請書はコピーを取って、お手元に保管してください。

<https://www.npwo.or.jp>

申請受付・締め切り

2017年3月31日(金)必着

郵送のみ

選考

当事業団内に設けられた選考委員会で審査のうえ、支援先を決定します。(五十音順 敬称略)

選考委員

社会福祉法人 バステル 理事長	石橋 俊一
脚本家	小山内 美江子
社会福祉法人 オリーブの樹 理事長	加藤 裕二
株式会社ユーティット 会長	関根 千佳
社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部長	高橋 良太
東京学芸大学 名誉教授	松矢 勝宏
NHK制作局 制作主幹	
NHK厚生文化事業団 理事長	

結果発表

2017年6月末に、申請したグループに文書で通知します。

※なお、選考結果や選考内容などのお問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

必ずご確認ください

- 次の事由による場合には支援金の返還を求められます。①支援金により取得した物件・物品などを申請目的に反して使用し、譲渡し、貸し付け、または廃棄した場合。②年度内にNPO法人以外の法人格を取得される場合。
- 支援先に選ばれたグループには、活動の様子について放送などの取材に協力していただく場合があります。
- 支援金ならびにパソコンは、2018年3月までの間に必ず活用し、その様子をご報告いただきます。

申し込み・問い合わせ先

社会福祉法人 NHK厚生文化事業団「わかば基金」係
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1

TEL 03-3476-5955 (平日10:00~18:00)

mail info@npwo.or.jp